

新庁舎建設基本計画（案）に関するパブリックコメント **共通意見**の説明

意見（要旨）	説明
<p>災害時の拠点性</p>	<p>災害時の対応についてですが、本庁舎は、災害時には、対応の司令塔の役割を担う必要があります。</p> <p>まず、立地については、市のハザードマップで見える限り、降雨時、地震時ともに、「地域交流センター駐車場」が3つの候補地の中では最も低い被害想定予測となっています。</p> <p>また、国道7号に通じる中央町緑町線、国道290号・460号、新発田停車場線という市街地の大動脈が交差している立地です。特に中央町緑町線は、道路幅員も十分であり、国道7号までの間に支障となる可能性の高い建物は見当たりません。万一、1つの道路の機能が損なわれたとしても、その代替機能の確保の観点からは、非常に優位な立地であると考えています。</p> <p>市街地住民の避難先としては、これまでの各学校やカルチャーセンター、地域交流センターに加えてこれから整備される県立新発田病院跡地が防災公園として機能を発揮します。また、病院跡地の防災公園は、災害対応の最前線としてボランティア活動の拠点にもなります。</p> <p>併せて、救援物資はコメリとの災害応援協定に基づき高速道路、新新バイパスのインターに近いコメリパワー館駐車場に物流拠点等を設けることができます。</p> <p>このように、災害時にはむしろ、本庁舎の災害対策本部と避難・物資の拠点は、それぞれの適地で機能を分担することで、支障なくその機能が確保されるものと考えます。</p> <p>また、災害対策本部設置に協力をいただく自衛隊、警察とは至近の距離であることから、本庁舎前に多くの関係車両が乗り入れる必要はないと思われませんが、近隣の民間駐車場と災害時の優先利用についての協定を結ぶなど、十分な対応を進めたいと考えています。</p> <p>さらに、災害発生時における市民の安全の確保はもちろんのこと、被災者支援や復旧・復興には、市民の個人情報が必要で、例えば、免震構造で建物をしっかりすることや、データの分散バックアップを進めるなどにより、災害対策本部の機能を確保していく考えです。</p>